

る自転車減少し、安全性の向上と自転車の走りやすさが確認された。今後、県公安委員会など関係者と協議し、福山駅箕島線の国道2号交差点から野上町交番交差点の間に自転車レーンを設置する。自転車走行空間整備計画は、懇談会の意見を参考に、福山駅手城線、北古津曙線、地吹大渡線、伏見旭町1号線の4路線の整備を検討する。

◆関連質問

・自転車分離社会実験について (明政会)

中心市街地活性化の方向性は

**問** 福山駅前広場の一日も早い完成が待たれるが、8月下旬に突然、駅前の商業ビルの閉店が明らかになり、中心市街地活性化に影響すると危惧している。中心市街地の全体的な見直し策と今後の方向性は。

**答** 福山駅周辺の中心市街地を取り巻く環境は、景気の先行き不透明感などを背景に大きく変化することが予測される。駅前広場整備の完成が間近となり、今後、産学官で緊密に連携し、中心市街地

の活性化に向けた基本的な方向性を検討する。

景観条例制定の取り組み

状況は

**問**

※景観計画が策定され、今議会には福山市景観条例制定の議案が提案されている。①制定後、どのようなまちづくりを推進するのか。②制定による市民生活への影響は。

**答**

①本市には多様な景観資源が存在しており、まちづくりではこうした資源を守り、育てるとともに、地域の特性や人々の暮らし等との調和を図ることで、市民が誇りと愛着を感じられ、まちを訪れる人も魅力を感じられるような景観づくりを推進していく。②景観条例は景観法に基づき届け出が必要とされる行為等を定めているが、届け出は、大規模な行為を対象とし、景観計画に則して緩やかな規制、誘導を図るもので、一般市民への影響は少ないと考える。

◆関連質問

・福山市景観計画について (明政会)

市民連合



池上 文夫 議員

青少年自立支援プロジェクトの取り組みは

**問**

2008年の経済危機以降、就職できない若者が増加し中でも低学歴、障がいや疾病、経済的に恵まれない若者が不利になっている。①子ども・若者育成支援推進法の趣旨をふまえた施策推進のための枠組み整備は。②ニート・引きこもりの実態把握は。③青少年自立支援プロジェクトの取り組みは。

**答**

①法の趣旨をふまえ、県と連携し、ネットワークのあり方について研修会を開催し、現在、課題などを整理している。②全国推計の割合を本市に当てはめると約2500人と推計される。③今後市内企業の協力を得て、10日間以内で職場体験を行う就労支援プログラムの実施を予定しており、引

き続き、青少年の自立支援に向けて取り組む。



青少年自立支援事業を行っている Buchiパル福山(勤労青少年ホーム)(草戸町五丁目)

第四次福山市総合計画 後期基本計画について

**問**

2016年の市制施行100周年を展望し、安心・安全な地域社会の構築を基本に、少子高齢化対策、障がい者施策の拡充と、鞆架橋、伏見町地区市街地再開発事業、老朽化が著しい体育館・市民球場の建て替えなどハード事業への取り組みが必要では。

**答**

少子高齢化や人口減少が進む中、安心・安全や福祉など地域課題が多様化している。今後の施

※景観計画：良好な景観の形成に向けた理念や目標、地域の特性に応じた景観づくりの方針などを定めたもの。